

2016年に国内で開発されたサービスロボットの 動向に関する調査結果を発表

- 2016年に国内で製作された新サービスロボット数は91機種（10月末時点）
- 2016年の新サービスロボットの機種数は昨年比で133%となる見込み
- 見守り・コミュニケーション向けロボットが最も多く、構成比の15%に及ぶ

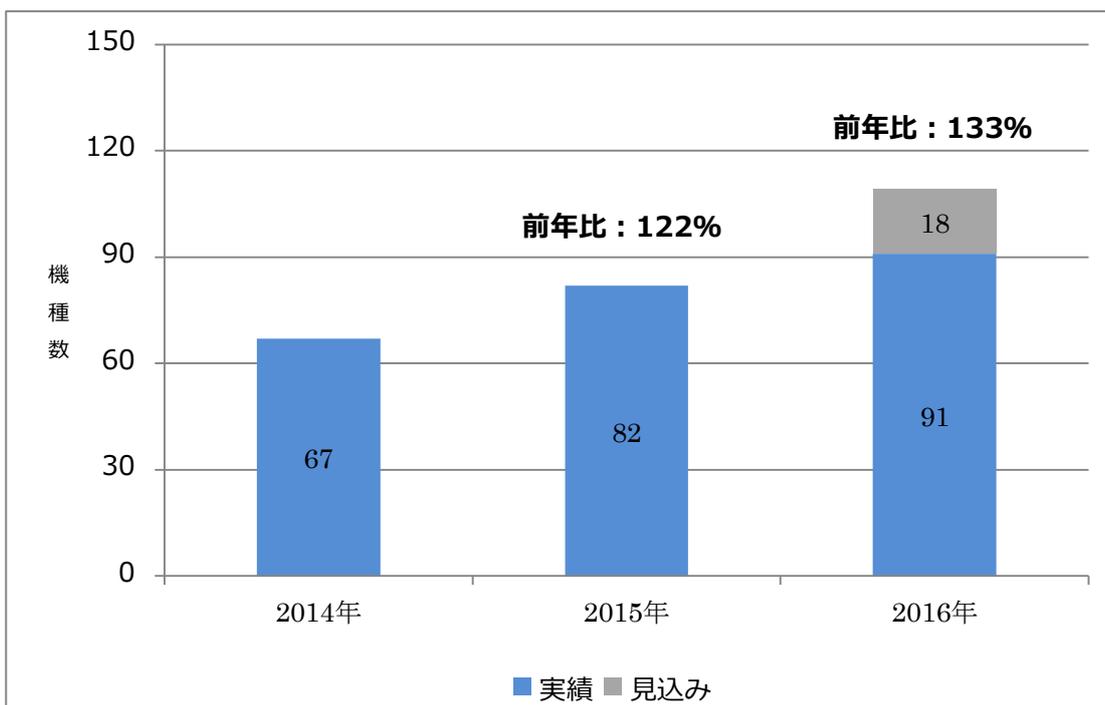
アスラテック株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：酒谷 正人）は、国内のサービスロボットの開発動向に関する調査結果を発表した。この調査は、2014年から2016年10月までに国内で発表されたサービスロボットに対し、その完成時期やジャンルなどを追跡調査したものとなる。

●新規サービスロボット数は堅調に増加

2016年10月末時点で、国内で開発された新しいサービスロボットは91機種になった。11月～12月も同様のペースで推移した場合、2016年末にはおよそ109機種に届く見通しだ。

過去2年では、2014年は67機種、2015年は82機種で、年間の新規サービスロボット数の推移を示したグラフが図1となる（2016年は予測値）。2016年の新しいサービスロボットの機種数は昨年比で133%となり、調査を開始した2014年から引き続き高い成長を続けている。

図1 ■ 国内で開発されたサービスロボットの機種数



●特定のジャンルでのサービスロボット開発が目立った 2016 年

2016 年に開発されたサービスロボットをジャンル別に分けると、図 2 および表 1 のようになる。サービスロボットのジャンル別の割合では、「見守り・コミュニケーション」が最も多く、全体の約 15.4% に及んでいる。2 位以降、「アミューズメント」約 13.2%、「介護・福祉」約 12.1%、「清掃」約 11.0% と続く。20 ジャンルのうち上位 4 ジャンルで全体の半分以上を占める結果となった。

図 2 ■新規開発サービスロボットのジャンル別比率（2016 年）

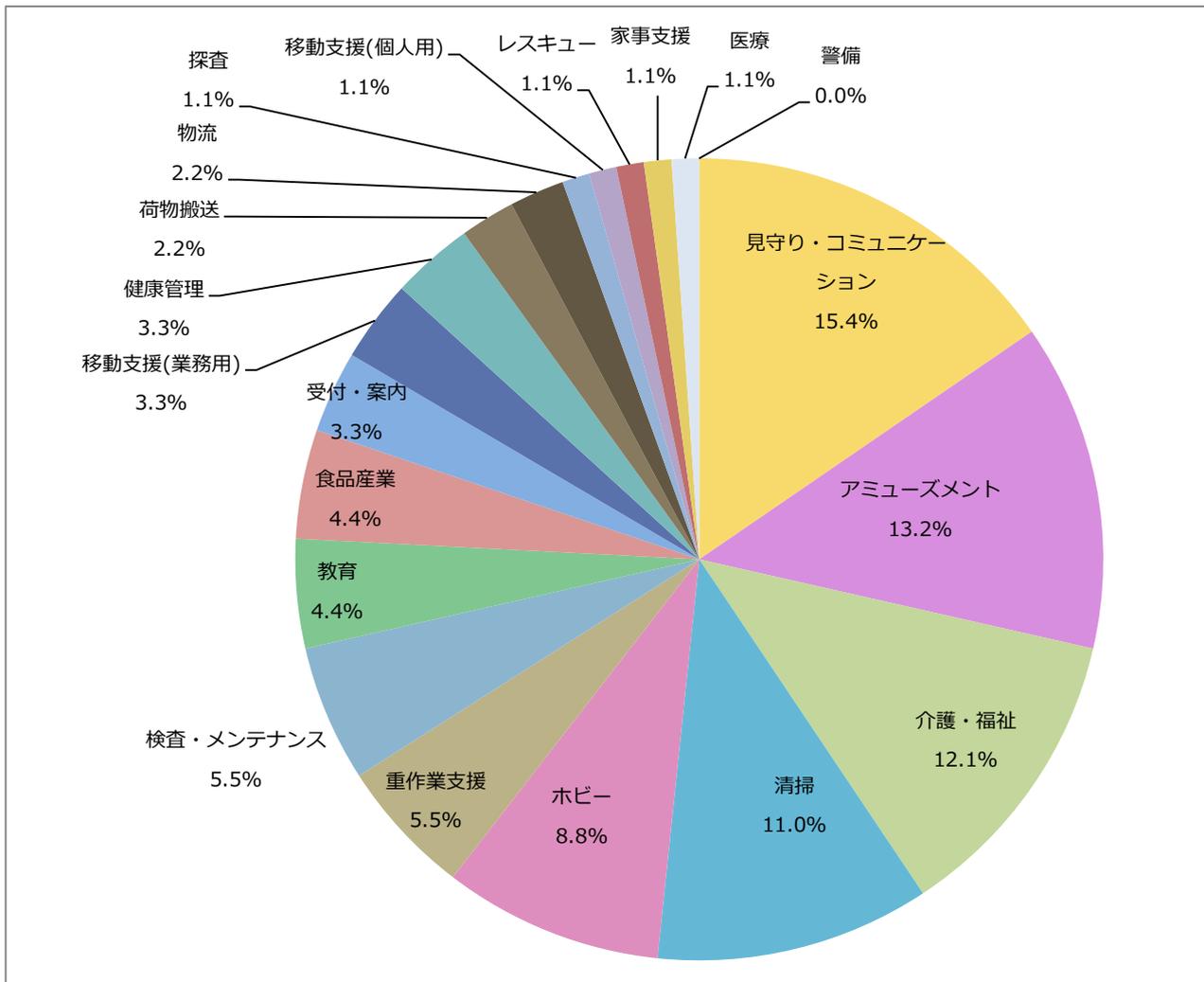


表 1 ■新規開発サービスロボットのジャンルと機種数（2016 年 1 月～10 月）

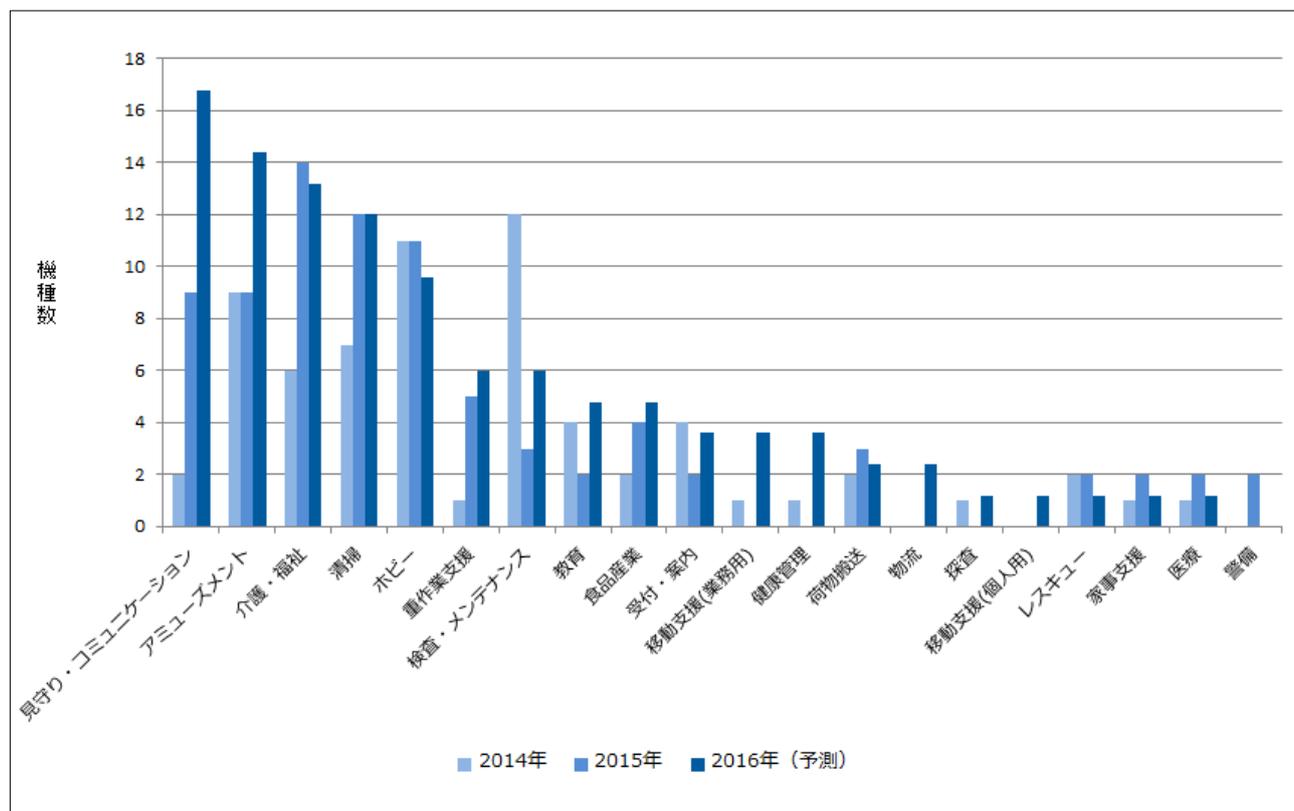
ジャンル	機種数
見守り・コミュニケーション	14
アミューズメント	12
介護・福祉	11
清掃	10
ホビー	8
重作業支援	5
検査・メンテナンス	5

教育	4
食品産業	4
受付・案内	3
移動支援(業務用)	3
健康管理	3
荷物搬送	2
物流	2
探査	1
移動支援(個人用)	1
レスキュー	1
家事支援	1
医療	1
警備	0

●「見守り・コミュニケーション」ロボットが成長を牽引

ジャンル別の新規開発サービスロボットの機種数について、2014年以降の年間推移を示したものが図3となる（2016年は予測値）。目立った伸びを示したのが「見守り・コミュニケーション」ロボットで、2014年に2機種、2015年に9機種だった新規開発数は、2016年ではおよそ17機種が見込まれている。これは前年比で約187%、2年前との比率は約840%となっており、「見守り・コミュニケーション」ロボットの躍進がデータのうえからも明らかになった。

図3 ■新規開発サービスロボットの機種数の推移（ジャンル別）



【調査期間】2014年1月～2016年10月

【調査方法】当社社員による書籍や雑誌、プレスリリース、インターネットなどからの文献による調査、ならびに展示会などにおける現物確認。参照した主なメディアは『日刊工業新聞 電子版』『Engadget 日本版』『ロボスタ』『ITmedia』『ROBOTEER』『PRTIMES』『ロボットノート』。ほかに Google で「ロボット」をキーワードにした検索情報も参照している。

【対象とするサービスロボットについて】

当該期間に発表されたプレスリリースや報道において、国内で開発されたロボットとして取り上げられた製品のうち、工場などで使われる産業ロボット以外のものを「サービスロボット」としている。それらのサービスロボットについて追跡調査を行い、製作が完了した時期（商品の場合は発売時期）とジャンルをまとめた。プレスリリースなどで発表されていても、開発途中のロボットは含めていない。なお、サービスロボットのジャンル区分は、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) が 2010 年に発表した「2035 年に向けたロボット産業の将来市場予測」における、サービス分野のロボット分類に準じている（参考 URL : http://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_0095A.html）。

■アスラテック株式会社について

2013年7月に設立されたロボット専門の企業。ロボット制御システム「V-Sido OS」（ブシドー・オーエス）の開発・販売を中心にロボット事業を展開するほか、ロボットビジネスのコンサルティングも手がけている。

- ・ 本プレスリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。
- ・ プレスリリースに掲載されている内容、サービス／製品の価格、仕様、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。また、プレスリリースにおける計画、目標などはさまざまなリスクおよび不確実な事実により、実際の結果が予測と異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

アスラテック株式会社

E-mail: info01@asratec.co.jp